

# 診療予定 カレンダー

受付時間	日	月	火	水	木	金	土
午前9:00～午前12:00 (初診～11:30)	●	●	●	△	●	●	△
午後2:30～午後6:30 (初診～6:00)	●	●	●	△	●	●	△

## 2009年12月

日	月	火	水	木	金	土
		1 全日	2 休診	3 全日	4 全日	5 休診
6 全日	7 全日	8 全日	9 休診	10 全日	11 全日	12 休診
13 全日	14 全日	15 全日	16 休診	17 全日	18 全日	19 休診
20 全日	21 全日	22 全日	23 休診	24 全日	25 全日	26 休診
27 全日	28 全日	29 休診	30 休診	31 休診		

29日(火)～31日(木)は年末休業のため休診となります。

## 2010年1月

日	月	火	水	木	金	土
5日より通常診療いたします。					1 休診	2 休診
3 休診	4 休診	5 全日	6 休診	7 全日	8 全日	9 休診
10 全日	11 休診	12 全日	13 休診	14 全日	15 全日	16 休診
17 全日	18 全日	19 全日	20 休診	21 全日	22 全日	23 休診
24 全日	25 全日	26 全日	27 休診	28 全日	29 全日	30 休診
31 全日						

1日(金)～4日(月)は年始休業、11日(月)は祝日のため休診です。  
※12月29日～1月4日まで7連休となります。ご了承ください。

当院サイト掲載の情報もご利用ください。 <http://www.azusawaseikei.com>

あずさわ通信 第13号

2009年12月1日発行

発行元: あずさわ 医療と癒しの融合

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2丁目36-13

小豆沢整形外科

マツエクリニックビル5F・6F

☎03-5916-4970 ㊟03-5916-4977

# あずさわ通信

第13号

2009年12月1日発行

あずさわ 医療と癒しの融合  
小豆沢整形外科



## イルミネーション

リハビリ室の電灯を消すと、  
こんな感じに見えます⇒

## お知らせ 11月1日より駐車場が変わりました

11月1日より、当院駐車場が変更となりました。  
以前の場所より遠くなってしまい、ご不便をお掛けいたします。  
詳細は、院内掲示および備え付けの駐車場ご案内図をご覧ください。



当院  
駐車場

私たち小豆沢整形外科は開設以来、整形外科分野にとどまらず、一貫して予防医学を重視し、一般病院ではまだ採用されていない最新特殊検査や、効果が確認された機能的食品のご提供などを行ってきました。また、常に世界最新の医学情報を収集精査し、良いものは一早く採用したいと考えております。

ほとんどの慢性疾患は、数週間から数年間かけてジワジワと組織の機能異常が蓄積し(これを「未病」と呼びます)、限界を越えたときに病気として現れます。

しかし、従来の医学では未病段階では発見できず、本当の病気になるまで放置されているのが現実です。

去る10月7日、当院リハビリ室にて希望の患者様を対象として、アムサットの無料測定体験会を行いました。

輸入会社の<sup>せき</sup>関社長から測定結果の解説を受け、一人一人、隠れた機能低下や症状の原因と思われる部位が見つかり、今後の治療や自己健康管理に非常に有用なヒントとなりました。

1回目の測定の後、参加者全員で15分ほどの呼吸療法を行い、再度測定したところ、全員健康度が改善されました。良い呼吸法の大切さが改めて確認でき、興味深い経験でした。

※なお、現在、当院ではアムサットの導入を検討中です。

昨年、私はアムサット(AMSAT)という測定装置の存在を知る機会がありました。これは元々、約20年前から旧ソ連で宇宙飛行士の健康状態を正確に素早く測定するために、国家プロジェクトとして世界中の最新技術を集めて開発された小型の電氣的な測定機器です。

アムサットは、頭部と両手・両足に電極を当てて微弱な電流を流し、たった17秒間で全身の健康状態を測定してしまいます。驚くべきことに、血液検査やMRIなどでは探知できない微妙な異常も見つけ出し、パソコン画面に臓器ごとに危険度を表示するのです。



呼吸療法の藤間先生

さて、いよいよ浄水場内の見学、いわゆる「大人の社会見学」です。

そういえば、私が小学生の時、地元の浄水場を見たことを思い出します……。今回は、あの時の子供に戻ったようなわくわくした気持ちで見学しました。

まず、門を入れて直ぐ左側の真新しく大きな建物に入りました。ここは高度浄水施設が入っている、三園浄水場の中枢です。5階に上がると大会議室と展示ホールがあり、三園浄水場の概要が判りやすく展示されていました。

この日、場内を丁寧にご案内・ご説明下さったのは、東京都水道局の小泉さんです[写真1]。

会議室ではビデオとスライドで、ホールでは模型やパネル図で説明を受けました[写真2]。そこで知ったポイントをご紹介しますと……

三園浄水場の施設能力は、1日30万m<sup>3</sup>で、東京都の水道全体に占める割合は4.4%と、施設能力1日170万m<sup>3</sup>の朝霞浄水場(全国第2位)に比べると小規模。

三園浄水場や朝霞浄水場などの原水は、利根川の水を武蔵水路を通して荒川に導水し、秋ヶ瀬取水堰で取水している。

東京都の水道は、浄水場と給水所が配水管で網の目のように結ばれ、どこかの浄水場や水道管でトラブルが生じて、他から安定して水を回せる。また、浄水場全体の施設能力は、全東京都民の需要をまかなえるように確保されている。

三園浄水場の高度浄水施設は平成19年から運用開始したばかりの最新設備。

### ①高度浄水処理とは?

従来の浄水処理は、原水の河川水に、凝集沈でん⇒ろ過⇒消毒で終了でしたが、三園浄水場では、凝集沈でん⇒前段ろ過⇒高度浄水処理(オゾン処理+生物活性炭処理)⇒後段ろ過⇒消毒と、ろ過の前に従来になかった高度浄水処理が追加されたため、かび臭原因物質・カルキ臭原因物質は100%、合成洗剤やトリハロメタンのほとんどの除去が可能になり、美味しく安全な水を作り出すことができます。

次回から、水の流れを追いながら浄水施設をご案内します!

(協力:東京都水道局)



写真1



写真2